

日本列島 離島巡り

今回は、古事記・日本書紀によると大八洲（おおやしま・日本列島）で最初に誕生したと記される、日本列島発祥の地、兵庫県淡路島（あわじしま）を紹介します。

淡路島はグアム島やシンガポール島とほぼ同じ面積で、日本国内では主要4島、択捉島、国後島、沖縄本島、佐渡島、奄美大島、対馬について第11位、人口では主要4島以外では沖縄本島に次いで第2位（約13万人）です。北から淡路市・洲本市・南あわじ市の3市で構成されます。

1985年に大鳴門橋、1998年に明石海峡大橋が完成して南北が地続きとなっています。



クルーズ船「咸臨丸」

淡路島といえば「鳴門の渦潮（うずしお）」です。淡路島の南端、南あわじ市の福良港からクルーズ船に乗って20分ほどで間近に見学することができます。太平洋と瀬戸内海から流れ込む潮流がぶつかり合ってできる渦潮は、世界三大潮流の一つとされ、春秋の大潮の頃にはその直径が約20メートルに達することもあります。現在、世界自然遺産登録を目指し、「兵庫・徳島『鳴門の渦潮』世界遺産登録推進協議会」を発足させて活動を行っています。



大鳴門橋と鳴門海峡を望む高台には、うずの丘大鳴門橋記念館があります。記念館前にある巨大玉ねぎオブジェ「おっ玉葱」は、淡路島の「驚くような」魅力を発信する、「おっタマげ！淡路島」プロジェクトの一環として設置されています。玉ねぎは高さ2.8m、直径2.5m、重さ約250kgあり、鳴門海峡をバックに絶好的の写真スポットとなっています。また、記念館の玄関前には、本物の玉ねぎを掴むクレーンゲーム「玉ねぎキャッチャー」もあります。玉ねぎを掴むことができれば、景品として淡路島産玉ねぎ1.5kg分をプレゼントしてくれるそうです（※時期によりキロ数が変わります）。

ニュースレター等に関するお問い合わせは

公益財団法人 国土地理協会 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3番1号

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184
URL <https://www.kokudo.or.jp>

地名データベースなら国土地理へ

News Letter

'20 Winter. 冬号

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 <https://www.kokudo.or.jp>

Japan Geographic Data Center
公益財団法人
国土地理協会

日本の世界文化遺産登録第1号「法隆寺地域の仏教建造物」

今号ではわが国で初めて世界遺産として登録された「法隆寺地域の仏教建造物」、その法隆寺を擁する奈良県生駒郡斑鳩町を取り上げます。

日本国内の世界遺産は、2020年12月現在で23件が登録されていますが、「法隆寺地域の仏教建造物」は1993年12月に、「姫路城」とともに日本初の世界文化遺産に登録されました。法隆寺のある斑鳩町は、日本列島のほぼ中央部、大阪府・京都府・和歌山県・三重県に接する海のない奈良県の西北部に位置しています。



斑鳩町は、1947年に龍田町・法隆寺村・富郷村が合併し現在の形になりました。人口は2020年3月31日現在で28,210人、世帯数11,861。面積は14.27km²と県内で8番目に小さい町ですが、国宝・重要文化財の数では奈良市に次いで県内2位となっています。

斑鳩町には、かつて聖徳太子が造営したとされる斑鳩宮があり、斑鳩宮の西方には、聖徳太子が建立した法隆寺、また尼寺として建てられた中宮寺、聖徳太子が法華經を講じた岡本宮の跡地に建立した法起寺などがあり、聖徳太子にゆかりの深い町といえます。法隆寺の東院伽藍にある夢殿は、聖徳太子がその中で瞑想したとされ、夢殿の本尊である救世觀音菩薩立像は、聖徳太子の現身と言われています。

世界遺産登録時に注目された法隆寺の普遍的価値としては、世界最古とされる国宝の金堂・五重塔・中門の仏教木造建造物からはじまり、奈良時代の東院夢殿・東大門など、飛鳥時代から江戸時代に至る時代ごとの建造物が残されており、約1400年間にわたる仏教建造物が数多く現存し、現代にその歴史や文化を伝えていることが評価されました。

斑鳩町と法隆寺

ここでは、法隆寺に関連する地名を見てみましょう。

斑鳩町には、法隆寺境内の地名である「法隆寺山内」以外にも“法隆寺”を使う地名として、「大字法隆寺」「法隆寺1・2丁目」「法隆寺北1・2丁目」「法隆寺西1~3丁目」「法隆寺東1・2丁目」「法隆寺南1~3丁目」があります。国内には他にも有名な寺がありますが、寺の名そのものを冠した地名がこのようにいくつも存在する自治体はなかなか見当たりません。



法起寺三重塔（斑鳩町）

次に、斑鳩町と法隆寺の繋がりについて見てみましょう。

昨年、2019年は「法隆寺地域の仏教建造物」が世界文化遺産に登録されて25周年ということもあります。斑鳩町では聖徳太子の命日である2月22日を「太子の日」とし、別途太子の遺徳を偲ぶセミナーを開催しています。

聖徳太子を偲び、古くから節目となる御遠忌（ごおんき/仏教用語で、宗祖や中興祖の遺徳を賛えるため、五十回忌以後、50年ごとに行う年忌法要）には大きな法要を行ってきましたが、2021年は聖徳太子が斑鳩宮において薨去されて1400年となるため、「聖徳太子1400年御遠忌」として、聖徳太子と「和」を感じるまちづくりをすすめているとのことです。



※弊会が毎年発行しているカレンダー付き

「全国市町村マップ」では、日本にある世界遺産を写真付きで紹介しています。



「全国市町村マップ」は弊会HP
(<https://www.kokudo.or.jp/service/calendar.html>)
にて無償配布のご案内をしております。

第35回 地図地理検定のご案内 主催(一財)日本地図センター、(公財)国土地理協会

(1) 試験日 : 2021(令和3)年6月13日(日)予定

(2) 試験時間／問題数

地図地理検定(一般) : 13:30~14:20・全問択一式、100点満点

地図地理検定(専門) : 15:00~16:00・択一式15問、記述式9問、100点満点

(3) 実施都市 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

(4) 受検資格 どなたでも受検できます。年齢等、一切の制限はございません。

地図地理検定

検索

前回の問題は
ココでチェック!

受検料

リピーター割引、学生・生徒割引、併願割引があります。

	地図地理検定(一般)	地図地理検定(専門)	一般・専門の併願
基本受検料	3,000円	4,000円	5,000円
リピーター割* 学割**	2,000円	3,000円	4,000円

*1 リピーター割は、第32回または第34回を受検された方。

*2 検定当日に、大学生・高校生は学生証や生徒手帳をご持参ください。

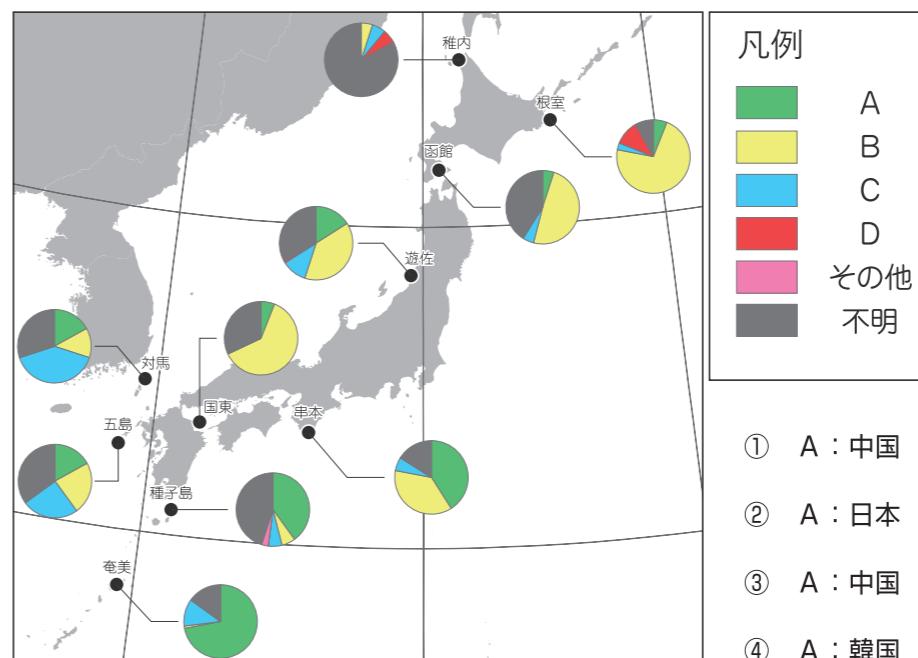
団体申込特典があります。詳しくは地図地理検定ホームページをご覧ください。

詳しくは地図地理検定ホームページ (<https://www.jmc.or.jp/chizukan/info.html>) をご覧ください。

地図地理クイズ!

(第30回地図地理検定より出題)

問 下の地図は、全国10地点の海岸において漂着したペットボトルごみの製造国を調査した結果を示したもので、凡例のA～Dに当てはまる国組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから1つ選びなさい。



① A：中国 B：日本 C：韓国 D：ロシア

② A：日本 B：中国 C：韓国 D：ロシア

③ A：中国 B：韓国 C：ロシア D：日本

④ A：韓国 B：中国 C：ロシア D：日本

環境省「平成28年度海洋ごみ調査の結果について」をもとに作成

日本全国の海岸において、不明なごみを55ヶ所で調査を行った。これらのうち、漂着の原因としては、海上輸送によるものが多い。また、A:中国、B:日本が最も多く、C:韓国、D:ロシアも比較的多い。北海道の根室では、D:ロシアの割合が最も高い。また、北海道の稚内では、C:韓国が最も多く、B:日本が次いで多い。四国地方では、A:中国が最も多く、B:日本が次いで多い。九州地方では、C:韓国が最も多く、A:中国が次いで多い。沖縄では、D:ロシアが最も多く、C:韓国が次いで多い。また、D:ロシアの割合が最も高い。

① [誤正]